

H22年度漁期（H22年12月～）のハタハタ漁の見通し

◎1歳オスを中心として700～800トン程度

根拠

1. 青森県のハタハタの漁獲量は直近5ヶ年（H17～H21年度）でも149トン～1,363トンと年変動が大きい（図1）。
2. 本県で漁獲されるハタハタは秋田県沖を中心に分布し、今年の年齢構成は1歳魚が主体（全体の約75%）で、前年漁獲主体であった3歳魚は今期4歳魚として約8%と推定されている（表1）。
3. 本県で漁獲されるハタハタの大きさやその年齢構成は年によって変化し、1～2歳の小型群と3歳以上の大型群の割合は秋田県沖のものと似た傾向がある（図2）。
4. 漁獲量は過去の秋田県の推定資源量と本県の漁獲量との関係からは約1000トンと試算されるが（図3）、資源量が多いと誤差も大きい。
5. メスの1歳魚は未成熟なため接岸せず漁獲対象とならない。

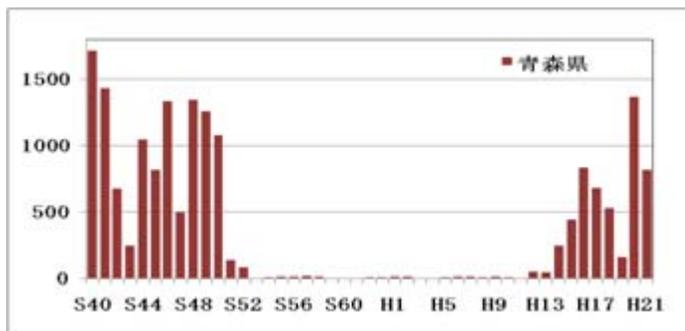


図1 青森県の漁獲量の推移

| | H20 | H21 | H22 |
|------|---------|---------|---------|
| 1歳 | 406万尾 | 2,718万尾 | 7,368万尾 |
| 2歳 | 7,699万尾 | 143万尾 | 1,532万尾 |
| 3歳 | 90万尾 | 4,418万尾 | 229万尾 |
| 4歳以上 | 41万尾 | 19万尾 | 765万尾 |
| 合計 | 8,236万尾 | 7,298万尾 | 9,894万尾 |

表1 年齢別推定資源尾数(秋田県資料より)

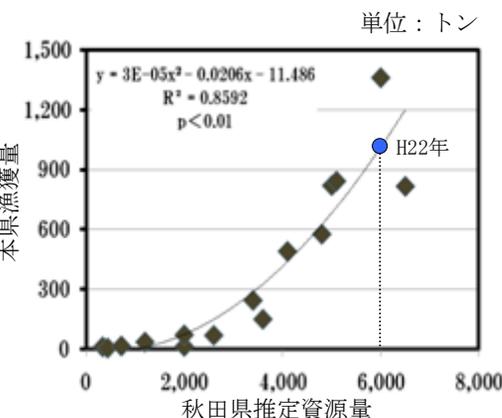


図3 本県漁獲量と秋田県推定資源量

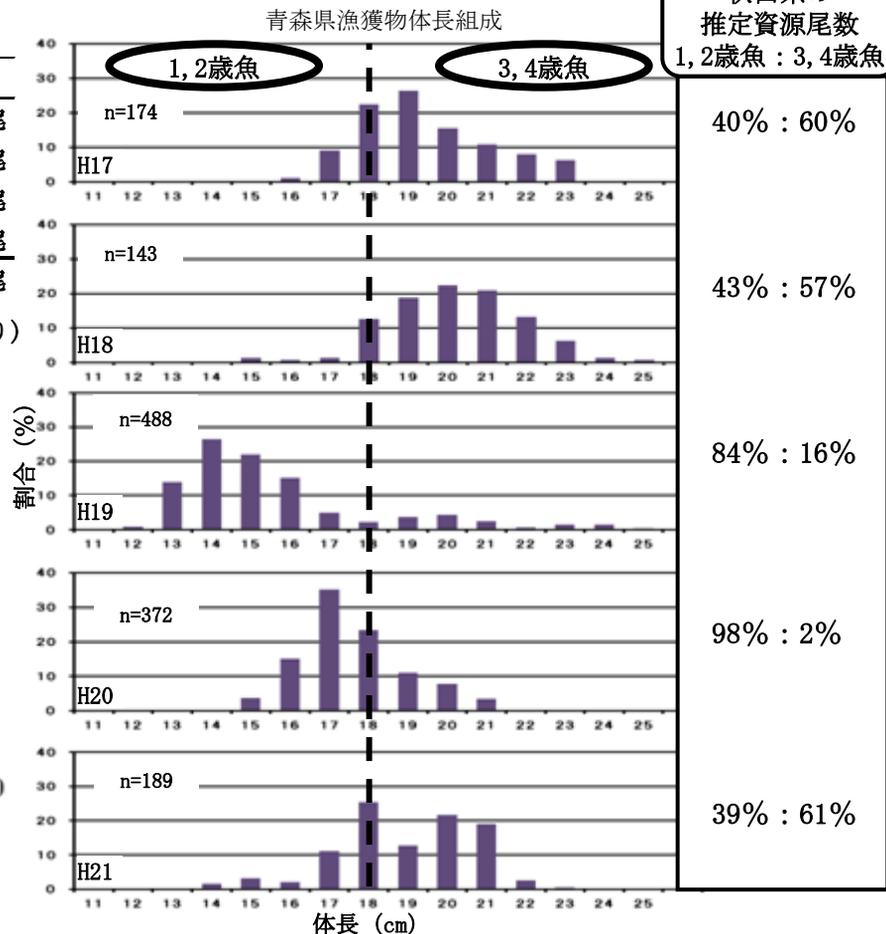


図2 本県漁獲物の体長組成(左)と秋田県の推定資源尾数比(右)